

私たちが生活する中で毎日出るごみも分別を見直すことで、「資源」としてリサイクルできるかもしれません。また、正しく分別されていないごみの処理に手間や費用が余計に掛かることももちろん、物によっては火災や事故を引き起こす恐れがあります。このごみ、何ごみ? そう思ったときは、「ごみ分別アプリ」さんあ〜るで調べてみましょう!



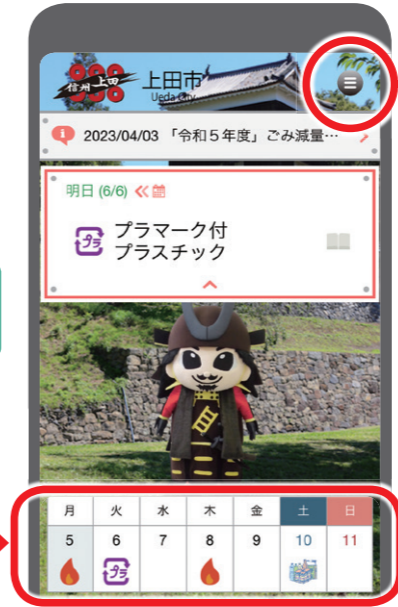
廃棄物対策課・ごみ減量企画室
☎22・0666
環境政策課
☎71・6428
資源循環型施設建設関連事業課
☎71・8082



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」で疑問を解決!

- 5言語対応
- 日本語
- 英語
- 中国語
- ポルトガル語
- ベトナム語

1 トップ画面



クリックするとメニュー画面へ

アプリのダウンロードはこちらから

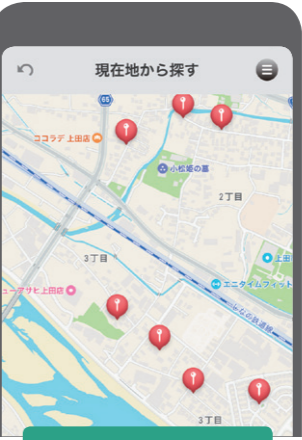


ごみ出しカレンダーを確認できます

2 メニュー画面



ごみの出し方を検索できます



資源物回収所を地図上で確認できます

※丸子・真田・武石地区は、今後公開予定



表紙の答え (よく間違えて出されるごみ)

これは、ごみ指定袋では出せません

ペットボトル(本体)※

▶キャップとラベルをはずし、洗ってつぶしてから、資源物回収所やスーパーへ。



カセットボンベ・スプレー缶※

▶中身を使い切り、キャップなどをはずしてから、資源物回収所またはウィークエンドリサイクルへ。



充電電池

- 充電電池内蔵の小型機器
- モバイルバッテリー
- スマートフォン など

▶「電池」として、資源物回収所またはウィークエンドリサイクルへ。



※はずしたキャップやラベル、ノズルボタンの分別について



- あり ▶ プラマーク付きプラスチックごみ(緑字の指定袋)へ。
- なし ▶ 燃やせないごみ(赤字の指定袋)へ。

3 ごみの分別帳



ごみの分別区分が分かります

DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER

モバイルバッテリーなどの充電電池は強い力が加わると発火します。誤って分別された充電電池やカセットボンベ・スプレー缶をごみ収集車で圧縮したことによる発火が原因の火災が近年増加しています。分別を誤ると収集作業員や近隣にお住まいの方が危険にさらされます。ルールを守り適切な分別にご協力をお願いします。

4月5日に上田クリーンセンターで発生した車両火災の様子

DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER DANGER

古着回収

家庭で不用となった古着などを回収します。回収した衣類は古着として利用されますので、まだ着られる状態の衣類を洗濯してからお持ち込みください。お持ち込みの際は、なるべくたたみ、透明なビニール袋に入れてください。

【場所・日時】

- ◇上田クリーンセンター
毎月第1金曜日 10:00~12:00
次回は11月10日(金)
- ◇丸子文化会館 セレスホール
11月18日(土) 9:30~12:00
- ◇真田地域自治センター
10月21日(土) 10:00~12:00

【回収品目】

古着(シャツ類、ズボン類、セーター、フリース、スーツ、ジャンパー、子ども服など)、ぬいぐるみ、タオル、バッグ、靴 など

★衣類以外のぬいぐるみやタオルなども出せます



HELASを活用しませんか

お店(売り手)が出品するロス食品と生活者(買い手)を結びつける、信濃毎日新聞社運営のスマートフォンアプリです。



「30・10運動」推進協力店を募集しています

詳細は市ホームページまたは環境政策課へ。



※30・10運動 乾杯後30分間は席を立たずに料理を味わい、お開き前の10分間は自分の席に戻って、再び料理を味わう取組です。

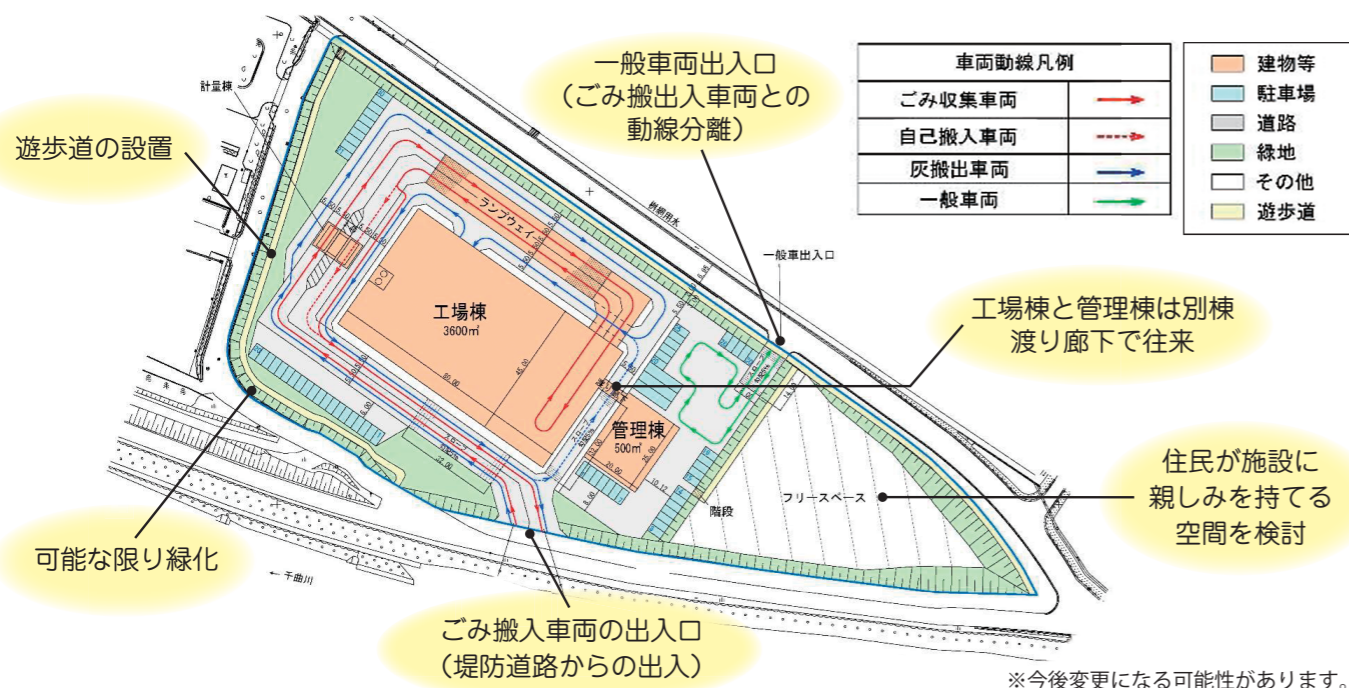
**食品ロス削減で
ごみ削減!**

- 買いすぎに注意
- 冷蔵庫を定期的に整理
- 食べきれない分だけ作る
- 30・10運動の実践

10月は食品ロス削減月間!

れいぞうこくん (家庭における上田市食品ロス削減運動イメージキャラクター)

配置動線計画(案)



周辺整備事業の基本方針をとりまとめました

市では「地域のまちづくり」について、「資源循環型施設周辺の整備」と「地域の住民生活の課題解決」の2つの視点を持って検討を進めることとしており、本事業は、「資源循環型施設周辺の整備」に位置付けられています。市としては周辺整備を通して、資源循環型施設建設を契機とした地域価値の向上を実現するとともに、行政の抱える課題の解決を図る方針としており、資源循環型施設と連携した一体的な整備を目指していきます。



■整備の方向性

① 余熱利用施設の整備

アクアプラザ上田を廃止し、市内スポーツ施設の状況や市民ニーズを考慮した、余熱利用施設を整備する。



② 公園緑地の整備

圏域住民が集える空間を創出する。



■周辺整備事業の計画地(案)



資源循環型施設の整備に向けた取組



上田地域広域連合および上田市では、3つのクリーンセンター(上田・丸子・東部)を廃止し、1つに統合する「資源循環型施設」(統合クリーンセンター)の建設に向けて取り組みを進めています。

施設基本計画を策定しました

「資源循環型施設 施設基本計画」は、上田地域で発生する可燃ごみを安全かつ適正に処理する資源循環型施設の整備に向けて、整備する施設の内容・考え方などの基本的事項を整理し、今後実施する詳細検討の基礎資料とすることを目的としています。

基本方針と施設の基本概要

資源循環型施設整備の基本方針

- ① 環境への負荷を低減し、安全で安定した環境にやさしい施設
- ② 発生するエネルギーを回収し、資源を循環利用する施設
- ③ 周辺の自然環境と調和を図り、環境教育の拠点となる施設
- ④ 施設建設地の基盤整備と地域振興を図り、快適な生活環境を創造する
- ⑤ 災害時の廃棄物処理を迅速に行うとともに、防災拠点としての機能を持つ施設



項目	基本概要	項目	基本概要
焼却対象物	可燃ごみ、災害廃棄物	処理方式	全連続式ストーカ式焼却炉(24時間連続運転)
炉構成	2炉構成	煙突高さ	59m
焼却処理能力	144 t/日(1炉72 t/日×2)		

環境保全対策

法規制値より低い自主基準値を設けます。

排ガスの自主基準値

項目	単位	自主基準値	法規制値
ばいじん	g/Nm ³	0.01	0.08
硫黄酸化物(SOx)	ppm	30	(約4,000)
窒素酸化物(NOx)	ppm	50	250
塩化水素(HCl)	ppm	30	430
ダイオキシン類	ng-TEQ/Nm ³	0.1	1
水銀	μg/Nm ³	30	30

余熱利用計画

- ・ごみを焼却した際に発生する熱エネルギー(余熱)を温水や蒸気、電気などに変換して再利用することで、資源(熱)を循環(リサイクル)させる計画です。
- ・可能な限り高効率化を図ります。
- ・今後、周辺整備計画と連携して、余熱利用計画について詳細な検討を行っていきます。

事業方式

資源循環型施設建設事業は公設民営方式(DBO方式)^{*}を基本に検討しています。

^{*}行政が資金調達し、民間事業者が施設の設計、建設、運営を一体的に委託する事業方式

水害対策

次の基本方針を基に、地盤の高上げや防水扉の設置などを施します。

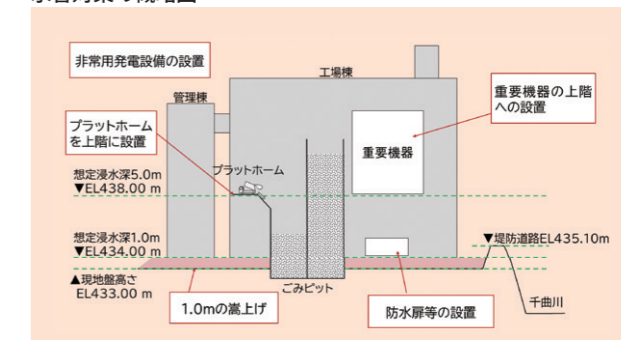
100年に一度の確率の降雨……

- ごみを処理する機能を守る

1000年に一度の確率の降雨……

- 主要設備を守り、ごみを処理する機能を速やかに回復する
- 二次災害を生じさせない

水害対策の概略図



概算事業費

項目	金額(税込)
建設費	229億円
維持管理費	7億8,000万円/年

^{*}令和4年10月に実施したメーカーヒアリング(7社)の平均値により算出しています。

^{*}建設費には清浄圏解体費も含まれています。

^{*}最終事業費は今後変動する可能性があります。